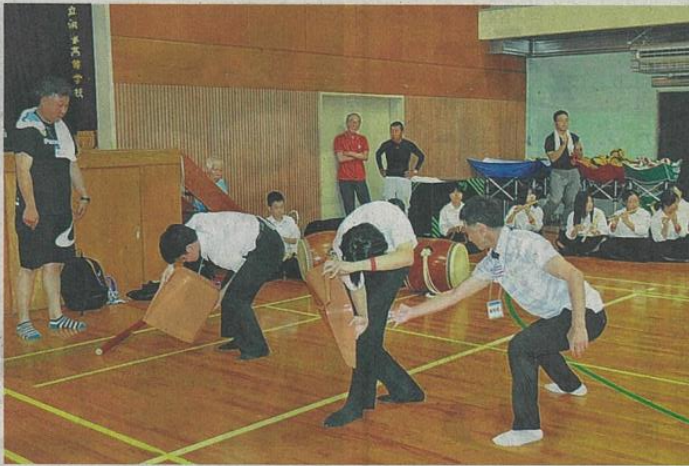




地域住民から指導を受けて麒麟獅子の動きを練習する生徒  
＝9日、新温泉町芦屋の浜坂高

# 模索続く部活動移行

## 「チャレンジデー」課題把握

新温泉町

新温泉町は部活動の地域移行に向けて、地域と協働する試験的事業に取り組むなど模索を続けている。9日には「部活チャレンジDay」と銘打ち、浜坂高を会場に町内の小学5、6年生と中学、高校生計65人が町の特色を生かした部活動を体験した。町教委は今年中に計4回実施する予定で、移行に向けた課題や意向などを把握する。

国は2026年度から最長6年間の移行推進期間を示している。同町では前年度に、中学の合同チーム結成の可能性を探るため、野球とソフトテニス、卓球の3種目でモデル事業を実施するなど、移行に向けて取り組みを進めてきた。

試験的事業は、町クラブ活動試行協議会と町教委が主催。麒麟獅子クラブ▽武道クラブ（空手、相撲）▽ソフトボールクラブ▽吹奏楽クラブ▽eスポーツクラブの五つを実施する。児童生徒は希望クラブを選んで参加し、地域指導者や教員OBなどが指導する。

ソフトボールの部活動は現在、夢が丘中のみで、町全体の部活動に拡大できるかどうかを確認。事前アンケートで希望が多かったeスポーツは、クラブの継続性の有無を確かめる。

今回は文化芸術活動も取り入れた。事業を通じて、麒麟獅子舞などの伝統文化や空手、相撲の伝統を守っていく指導者の担い手を、継続的に育成できるかどうか

かも併せて把握したい考えだ。

地域移行に当たり、大きな課題の一つとなるのが、地域活動団体などの受け皿の確保だ。町教委によると、どの分野でも町内に受け入れ可能な団体がほとんどない。

今回の事業でも、吹奏楽は教員OBなどが指導に当たる。

町は、23年度の町部活動のあり方検討委員会で、持続可能な体制を整え地域全体で子どもを育てていく視点を重視することを決定している。山本真教育長は「地域で支えて、希望に合った部活動を提供したい。今までにないクラブ活動にも取り組んでもらいたい、自分らしく力を発揮してほしい」と期待する。（岡村博）